

(別紙様式3)

令和6年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 108  
学校名 愛知県立岩津高等学校  
校長氏名 麻生 和男

研究責任者職・氏名		
研究テーマ	ICT機器の活用による、自ら学ぶ姿勢の育成を目指す授業づくり	
本年度の研究目標	(1) ICT機器を活用した授業展開の研究と実践 (2) 授業目標の設定の工夫と評価	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
令和6年		
5月10日	第1回あいちラーニング推進委員会(教科主任会にて実施) ・課題整理、計画の概要	推進委員
6月12日	推進事業に係る学校訪問(高等学校教育課・総合教育センター) ・地歴公民・家庭科:研究授業、研究協議	担当職員
6月13日	中学校の教員、中学3年生・在校生の保護者、各企業の人事担当者を対象に「公開授業」の実施	全教職員
7月30日	あいちラーニング推進事業第1回連絡協議会(岡崎北高校) ・研究計画についての情報交換	担当職員
8月1日	現職研修(ICT支援員による研修) ・Microsoft Teamsの活用方法	全教職員
9月9日	教科主任会 ・課題整理、研究概要	推進委員
10月	教科会 ・「ICT機器の具体的な活用方法」「今後の取組について」	全教職員
10月28日	第2回あいちラーニング推進委員会 ・各教科報告、情報交換	推進委員
11月5日	授業公開 ・主管校からの指導助言	担当職員
令和7年		
2月17日	第3回あいちラーニング推進委員会 ・今年度のまとめ、来年度に向けて	推進委員
3月11日	あいちラーニング推進事業第2回連絡協議会(岡崎北高校) ・本年度の研究成果および課題について	担当職員
3月12日	主管校への報告、ホームページへの掲載	担当職員

## 研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

### 1 本校におけるICTの活用状況

本校では、教育情報部が中心となり、ICTを効果的に活用するための環境を整えている。また、研修等で得た内容を教職員が共有しやすい職場の雰囲気にあるため、比較的多くの教員がICT機器を活用した授業形態を取り入れている。加えて、授業内での提出物やアンケート等も積極的にICT機器を活用することができている。

### 2 公開授業の活用と成果

11月5日の授業公開は、国語科・英語科で実施し、西三東地区の高校から6名の先生方に参加していただいた。研究授業終了後の研究協議では、担当教員からICT機器を利用した意図や効果を説明した。その後、参加者からの質疑応答や感想・助言をいただいた。他校のICT機器を活用した事例を聞く機会もあり、非常に有意義な公開授業となった。

### 3 今後の課題

今年度の事業を通じて、各教科のICT機器を活用した取り組みを共有することができた。来年度は、多くの教職員がICT機器を効果的に使用する機会が増えるように取り組みを続けたい。そのためにも、教科内だけでなく他教科と情報交換ができる機会を多く設け、教員相互の意識向上や効果的なICT機器の活用につながるよう、研究を推進させたい。また、ICT機器を使うことを目的にするのではなく、効果的な活用により生徒の学びが向上することを最終目標にし、学びの変化や理解度の変容など、しっかりと見極めていきたい。

※ 本研究報告書は、令和7年3月14日までに当該地区の主管校に提出する。

※ 名古屋地区においては、旭丘高校、千種高校、城北つばさ高校、旭陵高校、愛知総合工科高校は瑞陵高校へ、明和高校、守山高校、愛知商業高校、中川青和高校は名古屋西高校へ提出する。